

オリジナル道徳教材

中学年 公正、公平、社会正義

『学級会』（教師用解説）

作..かないともゆき

絵..なぐもゆうと

四年生の二学期。わたしはずっとやりたかった学級会の司会をまかされることになった。次回の学級会は、「クラスがもっとよくなるためのレクリエーション」について話し合うことになっている。

わたしは、話合いがうまく進められるか少し不安だったが、クラスがよりよくなるように、やる気十分で学級会にのぞんだ。

主人公は学級会の司会をやることへの意欲が高かった。その後に、指名の優劣をつけてしまう一因となる。

「やりたいレクリエーションの意見はありますか？」

気心が知れていて、安心して発言を任せられる友達を指名している。

思っていたより、たくさん手があがった。わたしは、クラスで一番仲のよいアイさんをさした。アイさんはふだんのじゅぎょうでもたくさん発言をしている。

「宝さがしがよいと思います。グループでそうだしながら活動するから、話したことが少ない人も仲よくなるからです。」

さすが、アイさんだ。

トモ君が手をあげている。トモ君は、とても元気な子で、じゅぎょうでもたくさん手をあげて発言をする。でも、あまり考えないで発言することがあり、ふだんは忘れ物をすることが多い。トモ君と今年

トモ君の「特性が表れている一面」。主人公が、その後にトモ君はきちんと発言できないと判断してしまう一因となる。

はじめて同じクラスになって、休み時間にもほとんど話をしたことがないこともあり、どんな意見を言うのか少し不安だったがさしてみた。

「えっと・・・、何を言おうと思っていたのか忘れちゃいました。」

真剣に話合いに参加していないと感じている。主人公が、その後指名に優劣をつけてしまう決定的な原因となる。

トモ君がおどけたように言った。周りの子は笑っているが、わたしはちよつとムツとした。「こっちは、いっしょうけんめい司会しているのに!」と、心の中で思った。

再び、気心が知れていて、安心して発言を任せられる友達を指名している。

次に、同じ習い事に通っていて、いつもいっしょにいるシュン君をさした。シュン君は、算数がとくいで、せつめいをするのが上手な子だ。

学級会は、じゅんちように進んだ。

「たくさん意見が出てきたので、どのレクリエーションを
するとクラスがよりよくなるか意見を出してください。」

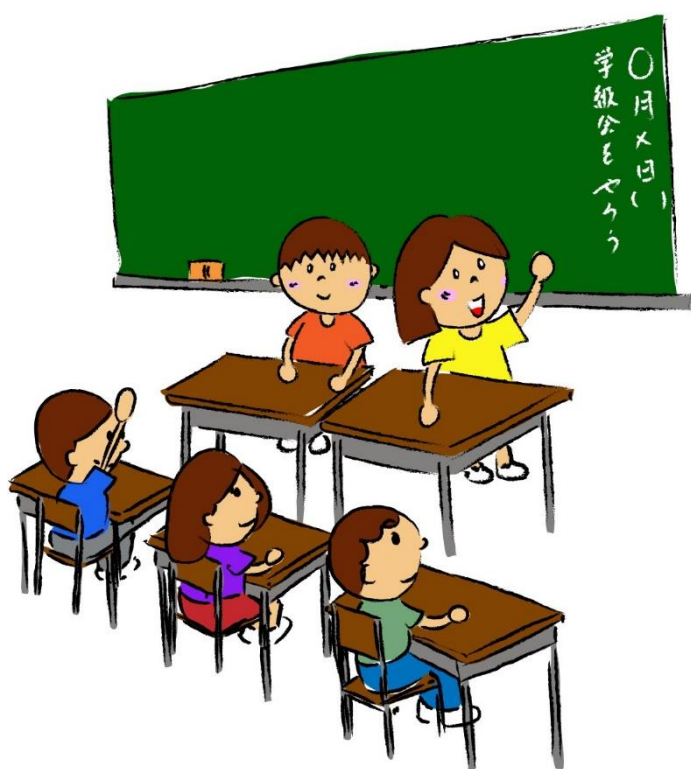
学級会の残り時間はわずか。ここは、うまく話をま
めてくれる人に発言してもらいたかった。

トモ君が、ふたたび元気よく手をあげている。しかし、

まじめに意見を言ってくれるか不安に思い、さすことがで
きなかった。わたしは、またアイさんとシュン君をさした。

一生懸命司会をしようとした結果の判断に共感する気持ちをもたせたい。

意見はうまくまとまった。司会の仕事をきちんと行う
ことができて、一安心していた。



学級会の後、トモ君が友だち何人かと話している声が聞こえてきた。

「ぼく、学級会で『お化けやしき』がしたいっていう意見を出そうと思っていたのに、言えなかった。」

「えーっ！『お化けやしき』おもしろそう！なんで意見出さなかったの？」

「一回、言う内容を忘れちゃって、そのあと思い出したんだけど、さされなかったから言えなかったんだあ……。」

「ざんねんだなあ。」

うまく司会ができていたと思っていたので、その子たちの「ざんねんだ」という言葉を聞いて、少しショックだった。学級会のときのことを思い出してみると、わたしは、アイさんとシュン君を何回かさしていた。トモ君は……最初にさした後は、一回もさしていなかった。

わたしは、学級会がうまくすすむように、いっしょうけんめいがんばった。それは自信がある。大事なところで、話をするのが上手な友達をさすこともまちがっていないと思った。

でも、

主人公も、トモ君がもっていた意見を、よい意見だと感じた。主人公が公平な気持ちで接する必要感を感じるきっかけの一つとなる。
「『お化けやしき』……、楽しそうだったな……。」

わたしは、もう一度自分の司会の仕方についてふり返ってみた。

【基本発問】

○「わたし」は、学級会の司会を行うことについてどのように思っていたでしょう？

↓頑張ろう。やる気十分。

○学級会が終わって、「わたし」はどう感じていたでしょう？

↓うまくできた。

○学級会が終わって、トモ君と友達の会話を聞いた後、「わたし」はどのように思ったでしょう？

↓ショック。一生懸命頑張ったのに。

【中心発問】

◎学級会の司会の仕方について振り返ったときの「わたし」は、どのようなことを考えていたでしょう？

↓トモ君は、よい意見が言えないと決めつけた。

↓一度、トモ君はきちんと発言できなかったのだから、わたしは正しい。

【補助発問】

○トモ君と前から仲がよかったり、普段の授業で真面目な姿を見せていたりしたら、「わたし」の対応は同じようになっていたでしょう？もし、対応が違ってしまふとしたら、それはよいことでしょうか。

↓よくない。不平等。仲がよい、わるい関係なく、みんな公平に接してもらいたい。